

第十六回フオト旬会優秀作品(24年2月13日)

<自由題>



通り雨
差し出す傘の
下ごころ
三 春

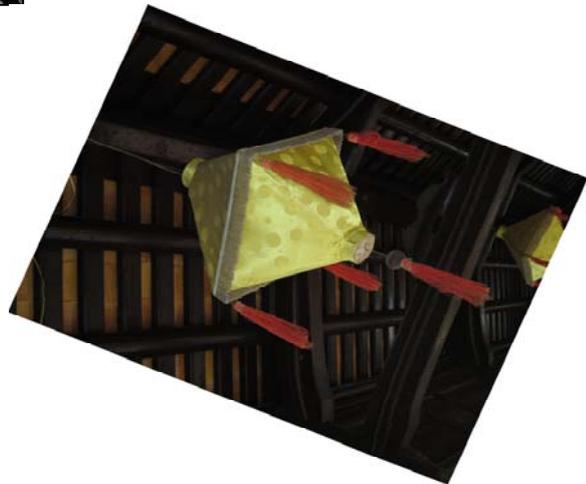
君の背が
眩し過ぎたる
春の午後
矢澤 正二



冬空に
蹴ったボールの
行きどころ
池田 隆



目指せ宇宙
エンジン点火
まっしぐら
上山 浩次



自由題寸評：

三春さん：「要注意！うかつに傘に入れない」ということ。

矢澤さん：「背中が眩しい」なんて一種の殺し文句ですね

原句：老いの目に眩しすぎたる君の背が

池田さん：枯れ木についた寄生木をサッカーボールに見立てた。

上山さん：天井から下がっている提灯を斜めに写してしてロケットに見立てたセンスが光ります。

<句 付 け>

2月のお題写真



独り者家に帰れば四畳半

平尾 富男

チョコQもこんなに大きく成長し

池田 隆

四歳の孫にどうかと女房言い

大月 和彦

口開けて後は獲物をまつばかり

上山 祐次

<寸 評>

今月のお題写真は上山さん出題の、神宮でみかけた小型自動車です。

平尾さん：無理して派手な車を買ったが、住家は狭い下宿。
よくあるパターンですね。

池田さん：おもちゃをそのまま電気自動車にした商魂に脱帽。

大月さん：女房は本当のおもちゃだと思っている無知。

上山さん：路傍に駐車して女の子が寄ってくるのを待っている
一人乗りだからいい獲物が来ても拉致できないことに気が付かない不思議。

<お知らせ>

次回（3月12日）は句会を早めに切り上げ、新宿でのカラオケ大会を予定してます。どなたでもエントリーできます。